

認知症介護実践者研修
職 場 実 習 報 告 書

事業種別		氏 名	
施設・事業所名		担当指導者名	氏

テーマ							
○今回の実践（取り組み）の内容を要約して記入する。 （どのような状態の方に対するどのような取り組みなのかがわかるようなテーマにすると良いでしょう）							
事 例							
氏 名	Aさん	性 別		年 齢		要介護度	
認知症高齢者の日常生活自立度				認知症の原因疾患			
○事例の概要を記入する。（どのような症状があり、どのような状態の方なのか。これまでのケア内容など。）							
目的・仮説・方法							
目 的： なぜこの取り組みを行うのか。どのようになってほしいからこの取り組みを行うのか。 仮 説： 課題の要因や原因はどこにあると考え、どのような取り組みを行う事で、Aさんの生活上の課題が解決されると考えたのか。 方 法： 実習で実践した作業の方法について記入する。							
4週間の具体的な取り組みとその経過							
○週ごとに、取り組み内容とその経過を記入する。							
（記入内容） ・実践した方法により導かれた結果 ・カンファレンスの内容と結果 ・再アセスメントした内容やその方法について ・再アセスメントやカンファレンスの結果等により計画が変更や追加になった事…等々 記入例） 【1週目の取り組み】 《取り組み内容》 《経過》 ○報告書様式は秋田県社会福祉協議会のホームページから、ダウンロードしてください。 詳細は本資料20・21ページで確認してください。 ○報告書は、3枚（A4サイズ）でご提出ください。 3枚未満(少なすぎる)や4枚以上(多すぎる)は認めません。 ○報告書の他に添付資料をつける方は、A4サイズで2枚までとします。 ○フォントサイズは10ポイント、行間は最小値に設定していますので変更しないでください。 ○報告書の提出方法・提出先・提出締切日は、本資料20・21ページで確認してください。							
結果と評価							
○今回の取り組みの成果から、分かったこと・見えたこと・読み取れたことなど記入する。 （事例対象者・職員・家族の変化など）							
考 察							
○結果をもとに、どうしてそのような結果になったのか考えたことを記入する。 （期待通りの結果になった時は、なぜ期待通りうまくいったのか。また、期待通りの結果が得られなかった時は、なぜうまくいかなかったのかなど要因を考える。）							
今後の取り組み							
○今回の結果をふまえ、今後につなげていきたいことについて記入する。 （応用の可能性や今後改善すべき課題など）							